

平成31年度学校自己評価システムシート（さいたま市立浦和高等学校）

（学校番号 s 4 7）

目指す学校像	中高一貫校として特色ある取組を進めるとともに、高いレベルの教育活動を積極的に展開し、明るく活力があり、高い志をもって輝き続ける生徒を育成する。
--------	---

重点目標	1 中高一貫校の特性を活かした質の高い学びを展開する。 2 「文武両道」の理念に立ち、バランスの取れた教育活動を進めるとともに、第1志望の進路を実現する。 3 国際理解教育の充実と開かれた学校づくりの推進を図る。
------	--

達成度	A	ほぼ達成（8割以上）
	B	概ね達成（6割以上）
	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)		
年 度	目 標	年 度 評 価	評 価 指 標	評 価 項 目 の 達 成 状 況	達 成 度	次 年 度 へ の 課 題 と 改 善 策	
1	<p>中高一貫校の特性を活かした多様な教育活動を進め、内進生と高入生が切磋琢磨し、進学実績の向上に繋げる一方、特色化を更に進め、他の中高一貫校との差別化を明確にすることが課題である。</p> <p>学習指導要領の改訂や高大接続改革等を踏まえ、主体的な学びや4技能の向上への取組は進みつつある。目指す人間像・学校像を明確にし、3または6年間を見通して中高一貫の教育課程の見直しと授業改善により、更に質の高い学びを充実させる必要がある。</p>	<p>中高一貫教育の特性を活かした指導の充実</p> <p>中・高連携体制の一層の強化</p> <p>学習指導要領や高大接続改革を踏まえた具体的な対応の検討と実施</p> <p>教員の指導力の向上と授業改善による質の高い学びの充実</p>	<p>①中高一貫校の特性を生かした内進生・高入生の教育課程の見直しを行う。</p> <p>②中高一貫としての教育課程の検討の進捗。</p> <p>③学習指導要領の改訂を踏まえ、目指す人間像を明確にした教育課程を検討する。</p> <p>④大学入試改革に対応した具体的な取組を検討、実施する。</p> <p>⑤アクティブラーニング等の授業改善の充実と、高いレベルの学習指導を実施する。</p>	<p>①評価アンケート「中高連携の満足度」等の肯定的回答数。</p> <p>②中高一貫としての教育課程の検討の進捗。</p> <p>③進学校としての教育課程の検討の進捗。</p> <p>④教科による、大学入試改革に対応した取組の進捗。</p> <p>⑤評価アンケート「授業の満足度」等の肯定的回答数。</p>	<p>①中高教員の連携は良好。生徒の中高連携に対する肯定は73.9%で昨年度同様良好。</p> <p>②R4からの新教育課程では中学先取り学習を明記、大枠が完成。</p> <p>③R4からの新教育課程において、授業進度の考慮、類型に捉われない科目選択の設定をし、選択幅を拡大。</p> <p>④組織的な新しい学力観に基づいた入試問題研究と公表を実施。</p> <p>⑤わかり易さ、学力向上、意欲喚起の観点で高評価。特に学力がつく授業の肯定が84.7%。</p>	A	<p>○授業は高度かつ高速で力がつくが、教科によっては学力差がみられる。高入・内進それぞれの特性を生かした教育活動の展開及び中高の連携による改善が課題。</p> <p>○新教育課程の大枠ができたが、観点別評価等、実施上の課題提起と、総合的な探究の時間の内容充実が課題。</p> <p>○学びの基礎診断において、民間ツールと自校作成テストを併用した。どのように学習評価をし、PDCAに取り組むかが課題。</p>
2	<p>第1志望への進学希望を諦めさせない高い志の育成はスローガンとして定着しつつある。一方、生徒や保護者の期待に応える高いレベルの授業と、計画的で戦略的な進路指導を展開し、進学実績の更なる向上を図る必要がある。</p> <p>部活動や学校行事へ積極的に取り組み、成果を上げている一方で、不安や悩みを抱えた生徒への対応、働き方改革を踏まえ伝統校としての良さを考慮した行事の見直しなど、より充実した学校生活となるよう改善を図りながら、高いレベルの「文武両道」を実現できる「スーパー進学校」を目指す。</p>	<p>計画的・戦略的で組織的な進路指導の実施</p> <p>生徒・保護者と連携した、個に応じた指導の充実</p> <p>働き方改革と部活動や学校行事の奨励と積極的支援</p> <p>教育相談を踏まえた、意欲的で均衡の取れた教育活動</p> <p>市立浦和に相応しい生徒指導の充実・徹底</p>	<p>①進路指導部と学年が連携し、計画的で戦略的な進路指導を進め、第1志望を諦めさせない指導の定着化を推進する。</p> <p>②学習マラソン、個別指導や補習授業を充実させ、生徒や進路関連の的確な情報を提供する。</p> <p>③部活動の推奨と積極的な活動支援を行う。</p> <p>④ガイドラインに沿った部活動の実践と、効果的な教育相談の体制の強化を行う。</p> <p>⑤挨拶の励行、ルールへの遵守、登下校の安全とマナー、いじめ防止、SNSの安全な利用等、生徒の社会性の向上を図る。</p>	<p>①センター試験900点満点受験者数。</p> <p>②第1志望の進路実現率、国公立大学・難関大学・医学部等の合格者数。</p> <p>③部活動等、顕著な生徒の活躍実績。</p> <p>④ガイドラインに沿った部活動の実施状況、教育相談会議の実施数、行事の見直し検討の進捗。</p> <p>⑤評価アンケート「生徒規律に関する項目」の肯定的回答数。</p>	<p>①900点満点受験者は164名で51%。昨年度比-3%であるが、一昨年度比+8%。</p> <p>②センター試験の全国平均が昨年度比大きく低下し難化が見られたが、上位層（800点以上）が微増。</p> <p>③interact・JRCは世界大会、陸上・吹奏楽・英speechは関東大会出場。</p> <p>④部活動はガイドラインに沿って適切に実施。教育相談係会はSCやSSWとも連携して9回。予餞会・体育祭等について生徒を交え再検討。</p> <p>⑤生徒規律に関して肯定が94.3%で良好。生徒指導はテーマを絞って校長・生徒指導主任講話等をはじめ繰り返し実施。</p>	B	<p>○900点満点受験者がやや減少し、更なる“あきらめさせない指導”の工夫が必要。入試の最新情報の提供には努めたが、二者面談の更なる積極的な実施が必要。学習時間の減少や通塾率の増加がみられ、部活動顧問との連携も課題。</p> <p>○体育施設の大規模改修が予定されている。また、部活動の部員減少がみられる。生徒募集PRと活動場所の確保が部活動振興の課題。</p> <p>○登下校の右側通行啓発を実施。“自分の身を守る”指導を、幅広い分野で安全とルール遵守に応用させる取組を実施。8:30(10分前)登校と整容の指導を学校全体で取り組むことが課題。</p>
3	<p>姉妹校交流や修学旅行、留学、部活動海外派遣など、多彩な国際交流活動を展開している。また、本校独自の戦略的な海外研修の教育効果が認められ、市の事業に移管するなど、広い視野と高い英語力、国際感覚を身につけた人材の育成が進められている。これらを更に推進し、広く市内に還元する必要がある。</p> <p>HPの閲覧数や土曜公開授業の来校者が増え、志願者も増加している。学校説明会、中学校訪問、地域連携などの機会を活用し、本校の教育活動を更に積極的に発信する必要がある。</p>	<p>安全な海外派遣の企画等、国際理解教育の更なる推進と、市事業等の積極的な活用</p> <p>積極的な学校情報の発信と地域連携の充実</p> <p>生徒募集の充実</p>	<p>①安全な計画に基づいた姉妹校交流、海外修学旅行、留学等を充実させる。</p> <p>②最先端イノベーションプログラム、部活動海外派遣等の活用による国際交流機会の提供。</p> <p>③HP、メール配信等で学校情報を積極的に発信する。</p> <p>④地域連携活動を推進する。</p> <p>⑤土曜公開授業や学校説明会の内容を充実させる。</p> <p>⑥校外学校説明会、中学校訪問、中学校生徒・PTA見学を積極的に受け入れる。</p>	<p>①国際交流事業への参加生徒の満足度と事故のない実施。</p> <p>②市事業等への参加生徒数。</p> <p>③情報発信数と閲覧件数。</p> <p>④地域と連携した取組数。</p> <p>⑤土曜公開授業、学校説明会の参加者数。</p> <p>⑥生徒募集活動の実施数。</p>	<p>①イノベーションPに対する満足度(将来への影響度)の肯定は90%。</p> <p>②イノベーションPへの参加者は25名で合格率76%。サッカー市選抜ドイツ派遣に1名。JRC日本代表オーストリア・モンゴル派遣に各1。海外修旅は99%が参加。</p> <p>③HP等の情報発信は135件。アクセス数は331,172件、昨年度比+8,150。</p> <p>④部活動、学校評価懇話会、PTA、地域祭、避難所運営、ロータリークラブ等の交流により文科省表彰。</p> <p>⑤公開授業来校者は838名。昨年度比-185、一昨年度比+158。</p> <p>⑥校外説明会への協力依頼は減少したが、志願者数(12月調査)では2.13倍で県1位維持。</p>	A	<p>○修学旅行の行程、費用と内容、ホテルと食事、交流の人数割等に課題があり、学校教育目標の実現に向けた再検討が必要。留学希望者増に向けた、中学との連携が今後も課題。</p> <p>○市事業がイノベーションPの他にも実施される予定。計60名。多くの生徒が希望するよう海外に目を向けさせることが課題。</p> <p>○HPの更新は適切に実施している。学校情報の発信、活発な生徒活動推進のために部活動ページを更新していくことが課題。</p> <p>○中学校PTA見学の申込数が減少したが、地域連携の一環として中学校の進路指導に資する受入れは今後も継続。</p>

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	令和2年2月12日
学校関係者からの意見・要望・評価等	<p>中高一貫校として、目標達成に向けた組織的な連携による教育活動が進められている。高校の先生による授業は中学生に興味深く、特に理数系の学習意欲が湧いており、高校の高いレベルの教育にさらに期待したい。</p> <p>入学前は楽しいイメージであるが、入学後は進学のための厳しいプログラムが待っている。メンタル面で課題を抱えている生徒もいるようなので、様々なケアにも期待したい。</p> <p>「Society5.0」に向けた人材育成を意識し、個々の生徒の特徴や目標が異なることを前提に、各自にとって最適で自律的な学習機会を提供してほしい。</p> <p>学年集会等による受験に対する動機付けは効果があったが、内進生と高入生には意識に若干の差があるようである。</p> <p>大学入試改革の情報がはっきりしないので生徒は不安だろうが、学校の情報に頼るのではなく、なるべく自分で調べさせてほしい。</p> <p>“部員減少”とあるが、一部の部に偏っているように感じる。</p> <p>スマホやタブレットの授業への導入は、時代を見極め、ルール策定とともに前向きに検討すべきであり、ぜひモデルケースになってほしい。ルールを決めた場合、教員のしっかりした指導が必要と考える。</p> <p>「安心メール」等を積極的に導入し、時間外電話対応やアンケート実施の業務を軽減し、働き方改革も進めてほしい。</p> <p>国際理解教育は、広い視野を持つきっかけとなっている。生徒の意見を聞くと、さまざまな取組により、英語学習が前向きになったり、成績が上がったりする生徒がいることがわかる。さらに積極的に進めてほしい。</p> <p>PTAだよりは、各家庭に配布されるが、それ以外の人にも見てもらいたいため、学校HPに掲載することなども検討してほしい。</p> <p>子どものことを担任の先生と相談する機会をもっと設けてほしい。中学校では長期休業等に宿題がたくさん出るが、高校でも宿題等で実力をつける指導をしてほしい。</p>